

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学(運動器疾患)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	山口 祐輝	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場で多くの整形外科疾患に理学療法を実施した			
《授業科目における学習内容》						
骨・関節・神経・筋繊維などの運動器に発生する主な外傷と障害について、病態生理、症状、理学所見、診断法、予後、保存・手術療法、さらにリハビリテーション医療への展開について、整形外科的観点から学習する。これらを通じて、理学療法を实践する上で必要となる整形外科疾患の基礎知識と治療概念を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
加藤 浩:編集、CrossLink 理学療法学テキスト MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
運動器疾患についての自己学習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目が臨床及び国家試験の出題範囲においても非常に多い学問です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器疾患の概要について理解する	指定テキスト	事前学習(20分) シラバスを読む 事後学習(40分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	運動器疾患の概要、代表的な運動器疾患を学ぶ			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:肩甲帯の解剖について理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :肩周辺の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	肩甲帯周囲(筋・骨格系)解剖学を学ぶ			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:肩甲帯の疾患、理学療法を実施できる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :肩甲帯疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	肩甲帯の疾患、機能評価、治療を学ぶ			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:代表的疾患(骨折系)について理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :上肢疾患(骨折) 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	上肢の代表疾患(骨折系)について学ぶ			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:代表疾患(骨折系)への理学療法を実施できる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :上肢疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	理学療法評価、治療を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:代表疾患(関節、軟部組織系)について理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :上肢疾患(関節、軟部組織)事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	上肢の代表疾患(関節、軟部組織系)について学ぶ		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:代表疾患(関節、軟部組織系)への理学療法を実施できる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :上肢疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法評価、治療を学ぶ		
第8回	講義演習形式	各コマにおける授業予定	上肢:代表疾患についてまとめることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	上肢:疾患の概要、理学療法をまとめることができる		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢:代表疾患についての理学療法を考え説明する事ができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	上肢:疾患の概要、理学療法について発表をする		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:股関節(筋・骨格系)の解剖学を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :股関節解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節周囲(筋・骨格系)解剖を学ぶ		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:股関節(骨・軟骨障害系、骨折系)の代表疾患について理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :股関節代表疾患 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節の代表疾患(骨・軟骨障害系、骨折系)について学ぶ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:代表疾患への理学療法を実施することができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :下肢疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法評価、治療を学ぶ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:代表疾患(股関節)についてまとめることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	下肢:疾患の概要、理学療法をまとめることができる		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:代表疾患(股関節)についての理学療法を考え伝える事ができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	下肢:疾患の概要、理学療法について発表をする		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ 振り返り	指定テキスト	事前学習(30分) 1回-14回まで振り返り 事後学習(30分) まとめ
		各コマにおける授業予定	1-14回の振り返り、症例検討		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学(運動器疾患)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	山口 祐輝	実務経験と その関連資格	理学療法士として臨床現場で多くの整形外科疾患に理学療法を実施した			
《授業科目における学習内容》						
骨・関節・神経・筋繊維などの運動器に発生する主な外傷と障害について、病態生理、症状、理学所見、診断法、予後、保存・手術療法、さらにリハビリテーション医療への展開について、整形外科科学的観点から学習する。これらを通じて、理学療法を实践する上で必要となる整形外科疾患の基礎知識と治療概念を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
加藤 浩:編集、CrossLink 理学療法学テキスト MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
運動器疾患についての自己学習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目が臨床及び国家試験の出題範囲においても非常に多い学問です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:膝関節の解剖学を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :膝周囲の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	膝関節周囲(筋・骨格系)解剖を学ぶ			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:膝関節の代表疾患を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :膝関節疾患 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	膝関節(筋・骨格系)の代表疾患を学ぶ			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:膝関節(筋・骨格系)代表疾患の理学療法を実施できる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	理学療法評価・治療を学ぶ			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:膝関節(筋・骨格系)の代表疾患の理学療法を実施できる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	理学療法評価・治療を学ぶ			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢:膝関節の代表疾患についてまとめることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	下肢:疾患の概要、理学療法をまとめることができる			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	下肢:膝関節の代表疾患の理学療法を説明することができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	下肢:疾患の概要、理学療法について発表をする		
第22回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	下肢:足部の解剖学を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :足部周囲の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	足部の解剖を理解学ぶ		
第23回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	下肢:足部の代表疾患の理学療法を実施できる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	理学療法評価・治療を学ぶ		
第24回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	脊柱・体幹の解剖学を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊柱・体幹解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	脊柱・体幹の解剖を学ぶ		
第25回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	脊柱・体幹の代表疾患を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊柱・体幹疾患 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	脊柱・体幹の代表疾患を学ぶ		
第26回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	脊柱・体幹の理学療法を実施することができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :疾患への理学療法 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	理学療法評価・治療を学ぶ		
第27回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	脊柱・体幹の代表疾患についてまとめることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	脊柱・体幹疾患の概要、理学療法をまとめることができる		
第28回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	脊柱・体幹の代表疾患の理学療法を説明することができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	脊柱・体幹:疾患の概要、理学療法について発表をする		
第29回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	関節リウマチの病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :リウマチ 事後学習(30分) 講義の振り返り
	各コマにおける授業予定	関節リウマチの病態と理学療法を学ぶ		
第30回	講義形式 授業を通じての到達目標	まとめ 振り返り	指定テキスト	事前学習(30分) 16回-29回まで振り返り 事後学習(30分) まとめ
	各コマにおける授業予定	16-29回の振り返り、症例検討		